

栄八通信

武雄市議会だより

(Web版) 始めました

http://ei-8.info/

第65号

H28年14710月発行



武雄市議会議員 宮本栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

西部広水 水道広域化で 値下げ期待

今6月議会より、2年交代の所属委員会が、福祉から、産業建設に変わった。その委員会への水道課からの報告で、衝撃を受けた。内容は、H32年度を目途として、佐賀西部広域水道事業団に、水道事業を統合する話し合いが進んでいるとの報告。

一方、西部水道事業団は、用水事業と言って、嘉瀬川からの水を久保田町の浄水場で処理し、武雄・多久・嬉野の3市、大町・江北・白石の3町と、西佐賀水道(旧三日月・芦刈・牛津)に送っている。一方、武雄市は、測ノ尾第2(若木)・大野(山内)で、浄水した自己水源と西部の用水を半分ずつ利用している。

もう少し分かりやすく言うと、武雄市など、加盟自治体の水道課がなく、西部広域水道事業団が家庭に配水する形になるもの。元々、佐賀県が目指す方向性は、自治体による、料金差をなくし、県民格差を防ぎたい考えで、県計画では、将来的に、県の東部・西部の2つにまとめる計画がある。

これまで、水道事業統合の話は、何度も持ち上がったが立ち消えていて、私自身も旧武雄市の時から何度も提案したが、理想論的なあつかい。そこで、今回、話が具体化しているのは、水道料金の安い、小城市が、協議会から、はずれた為、急に話が進展した模様。協議会の会長は、嬉野市長で、水道料金も一番安い20円3740円。武雄市の4568円は、下がる可能性があり、期待する所である。

新幹線の整備 H34年を整理する

H28年3月29日の6者(与党PT・佐賀県・長崎県・JR九州・鉄道運輸機構・国交省)協議決定。
○平成34年度に、武雄温泉駅で、長崎からのフル規格新幹線と対面方式で、特急をリレー(新島橋でなく)博多へ運行する。同時に、フリーゲージトレインの1・2台の長崎-博多間も運行。
【対面ホームの増設】
対面ホームの建設費用負担が、市にはなかったため良かった。一方、対面ホームの予定される具体的場所は、現在の駅舎南の外になり、その南側に新幹線線路ができる模様。
【在来線の複線化】
平成34年までの複線化工事は、大町・高橋間のみの整備。整備しないのかを調べると、

武雄温泉駅に入る前に調整する所を複線化していた方が都合が良いとの判断での整備のようだ。
【所要時間の比較】
結局時間的にどうなるのか?を調べると、博多-長崎間では、○フリーゲージで、1時間20分
○リレー方式で、1時間26分
○現行(特急)で、1時間48分となり、私自身は、以前から言っているとおり、リレー方式で、全車が武雄に停車し、F.G.Tより、6分遅いくらいなら、トイレに行くくらいは差しかないのでは、武雄市にとって、フルF.G.Tよりリレー方式が市の発展になると思ふ。
あと課題とすれば、新幹線のぞみとの待ち合わせ時間のしだいで先の6分は十分に取り戻せると思う。一方、政府・与党申し合わせの「H34年度から可能な限り前倒しする」を1年でも早くすること武雄市発展につながる。

北方幼稚園 決断が必要では!

旧武雄市は、幼稚園の経営はしてなかったが、保育園は多く経営していた。しかし、行革の中で、民にできるものは、民の方針で、また、現職員を解雇せず、退職や移動などに合わせて計画的に進めて来た。ただ、武雄保育所だけは、他の保育所のセンターとして、また、障がい児などの民間で対応が、難しい所を市が受け持つとの方針で進んで来た。

しかし、民間の障がい児保育に対し、人員を加配するなどの対策をするとして民営化した。その武雄保育園は、今春予定の新園舎移転は遅れたが、8月には移転し一応、市の民営化は終了する。一方、北方幼稚園もこの方針の流れで、民営化を目指していた。しかし、一向に民営化への実行がされない。所管は教育長で、一方で教育改革といながら、この幼稚園は置き去りにしている。

のぞみ幼稚園、

子ども園化へ

武雄市の竹下町にある、キリスト教会に隣接した幼稚園だが、来年4月に認定こども園に移行する。改めて、こども園を説明すると教育の幼稚園と福祉の保育園を合体したもので文科省と厚労省の対割りを緩和して、子育てニーズに対応するもので、国も推進している。一方、幼稚園だが、こども園化

なっている。しかも、他の民間園よりサービスが低い。たとえば、午後2時までで、延長保育がない。現在他園では当たり前、バス送迎もない。特に、私がこの問題を気づいたのは、当幼稚園近くで、他園のバスに乗せる保護者に、当園になぜ行かせないのかを聞くと、兄弟バラバラになり不便との話。
最初は何の事かと思ったが、北方幼稚園は、4・5才のみで、3才児を受け入れてない事を知ってびっくり、民営化を契機に、サービス向上を図ってもらおうべく、何回も新市の時から市が打ち出した民営化の早期実施を提案して来たが、不明確な答えばかり。
自分なりに、なぜ市が踏み切らないかを考えると、少子化の中で、あえて施設を増やす必要があるのか?との思いもあると推測する。実際、サービスマも低いせいなのか?の思いもあると推測する。現在の園児は、5才児は8人で、4才児は11人だが、地元北方町在住は3人程度と言ふ。
そうならば、逆に、全面建て替えて施設整備の進んでいる、北方町の志久・大崎の保育園に、こども園化をしてもいい、受け入れてもらった方が、市の財政負担の軽減はもちろんだ、子どもへのサービス向上にもなると思われる。
そこで、今議会、北方幼稚園の民営化でなく、志久・大崎の民間保育園にこども園化を働きかけ、そこに、現在の園児を移行してはとの提案をした。市は、地元の意向に従って進めていく、主旨の答弁。ただ、これまで、何回も地元の意向と答えながら、正式な打診や回答は見えない。

タブレット更新7216万円に 反対した理由

要は、小学校5・6年生と教師分、1000台の電子端末タブレットを、2年間の補償期間が切れたので、買い換え更新する内容。
一般家庭でも、iPad等所有している方もあると思うが、そう1・2年で買い替えるリッチな人は少数ではないかと思う。
また、一方、現在、所有する、小中学校合せて、4700台は、補償が切れても、5年間は大切に使用するとの答弁。
何か、つじつまの合わない答えで、納得がいかないし、私の考えでは、補償期間の延長契約か、それに変わる対策をすれば良いのではないかとこの思いがあり反対した。
一方、今回、購入するタブレットは、H25年12月に、武雄市小学校タブレット端末導入選定委員会が、選定した、中国の恵安製7インチでOSはアンドロイドが一番良いとして大量に購入したの、今回の選定では、日本の東芝製10インチでOSは、ウインドウズになっただけで、私の目からは、わずかの期間で、大変更するのは、選定委員会が、十分に機能しているのか疑問を感じざるを得ない。
また、一方、タブレット選定は大きく変化したのに、納入業者との契約は、(株)エデュアス社長の藤井宏明氏であり、先の小中学校の恵安製タブレット納入業者と同じである。
そこで、これまでの契約の経緯を思い返してみると、まず、小学校に実験的にタブレット導入し、特に問題もなく、武雄市の状況も把握されているとの理由で中学校へも導入されたと思う。
今回、提案型の指名入札(プロポーザル)方式が取られ、4社(市内2社・県内1社・県外1社)を指名したが、1社は辞退したと言ふ。その中から、県外東京のエデュアス社に決定したとの話。
今議会、市の損害保険など、少し高くても市内業者を使うべきと

谷口氏への賠償 前市長に求めず

谷口議員に対する、前樋渡市長の議会での、「借金踏み倒した等の」中傷に対しての、名誉棄損裁判が、5月6日に判決が出た。
樋渡氏の個人に対して、ブログでの中傷に対して、28万円の支払いが命ぜられていた。一方、議会での市長の答弁は、公務員の職務として、武雄市に33万円の賠償が命ぜられ、市・前市長共に、「主張はおおむね認められた。」との理由で、控訴せず、判決は確定した。
ただ、前市長は、質問の答弁に答える以外でも、十数回に渡り中傷している、公務員の職務とは関係ない発言がほとんどが実体。
そこで、市は、前市長に対し、求償権をいつて、市の支払いを、原因者に請求するかが注目されていたが、市は、今議会、求められていた賠償額より判決が少なかつた事等から前市長に対する求償権を行使しないとの答弁。市民から見れば税金から払われるのに納得が行かない。

高野南北線なせ6m幅 主要道で0円整備を!

武雄バイパス
佐賀方面に行く時に、時間を取られるのが、北方町大崎付近で、時には、バイパスまでつながらず、二俣交差点まで渋滞する。

一方、元々、武雄バイパスから、今後計画する北方バイパス―大町バイパスに接続する為に一部用地のみを国が購入していたが、そこを利用して、大崎地区の交通渋滞を緩和する計画を、地元市議が、古賀誠代議士にはたらきかけ事業化し、その後、民主党政権になったが、大串代議士も進め、確実に予算が付いて来ていよいよ完成も近くなった。

具体的には、今H28年度に、路盤の整備をし、来年のH29年度には、道路表層を仕上げで完成する。要は、現在のバイパス出口を変えて、渋滞の原因である、伊万里からの交差点と、多久からの交差点を通らずに国道34号線に合流する。

武雄小児童クラブ移転と耐震責任

今議会、武雄小児童クラブの位置が、学校から、今夏移転する、武雄保育園の場所に変更される。もともと、武雄小の改築に際しどこで、児童クラブをするか、明確にしないまま来た所が問題点。現在、南玄開横の被服室等3室で行っているが手狭な状況。私は、御船小のような、独自施設の整備を提案して来たが、教室・特別教室を利用すると、固なに市は、言いはって来て、対立状態。

杵藤広域圏の10億円の基金をくずす理由

杵藤広域圏は、武雄・鹿島・嬉野・大町・江北・白石・太良で広域行政事業を行っている。主なものは①消防 ②電算センター ③葬祭場 ④ゴミ処理センターでした。一方、国からの9億円と県からの1億円の約10億円の基金をもつていて、その約2億2千万円を各町に配分しています。今回、この基金を取りくずせる様に広域圏の各自自治体議会の承認

どちらがエラ 廃プラ 分別・焼却(発電)

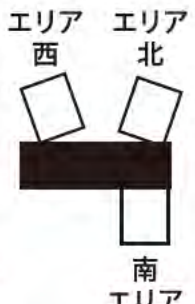
ゴミの処理が、朝日町繁昌の杵藤クリーンセンターから、伊万里市・松浦の西部広域環境センターに今年1月に変更しては半年たつ。最近、白石町が、プラスチック容器の分別回収を止めて、他のゴミと一緒によにセンターに持ちこむ方式に変更。佐賀新聞の投稿ひるばに、白石町民が、これまでのせつかくのリサイクルが後退して残念という内容の投稿。改めて、住民に協力を求める時には十分な説明がないと、いらぬ対決を生むと再認識した。

そこで、説明すると、杵藤クリーンセンターの時は、ゴミ焼却の熱を一部お湯にしていただけで、今回の西部では、エネルギー回収売電をしていて、有効活用されている。だから、わざわざ、分別する、労力や袋は逆にエゴでない。

下水道は 新エリアへ

私の子供の頃、市役所横の富岡川は、どぶ川で、あぶくが出ていた。最近、水もきれいになりクレソン(せり)も自生している。これも下水道等の事業によるものと思う。今、H28年は、武雄市街地の公共下水道は新2ステージに入る。合併前のH16年に、高架事業に合わせ、川端通りから、温泉とおり、宮ノ町・中町・昭和・天神小楠など区画整理の関連地区、と新武雄病院付近の76ヘクタールの第1次整備地区が、H27年度で終了した。現在、家庭の投入は、715基設置してあるが、接続は242で、3分の1程度で早期接続が課題。

一方、今H28年度より2工区に北エリア(桜町・八並・小楠)西エリア(新町・竹下・下山)南エリア(物産館付近・新武雄)この第2ステージは、前期整備の周辺になるが、3エリア、同時平行に進め、5年後のH32年に完了を目指して、すでに、武雄小・武雄中付近は工事の発注をしているとのこと。



六角川洪水調整池最近の動き (グーグルマップで見てください)

六角川は、市内の西川登町の神六山を源流に、東川登町・橋町・北方町などを西から東に蛇行して流れ、最後に北からの牛津川水系を合わせて、有明海にそそぐ。ところで、洪水の状況は、橋町から平坦地になる事や、有明海の潮の満ち引きで流れが悪くなる事等で、常襲的に水害が起きる。そこで、近年東川登の大坪石材の石を切り出した穴を利用して、一時的に水を貯める、調整池を作る動きになっている。

以前の通信で、現地の土地所有区分が、筆介未定60筆もあり判明が長期になるのではと書いていた。最近の市の動きを報告すると、まず地権者会を、組織してもらい、事業に対する意見を集約すること、筆介未定60筆と言われていたが、119筆60関係者の様で、しかも、地形が採掘で変化しているの、実測確定方式でなく、登記図上確定でスピードアップを測る。

今、まず、市がその市道2本の確定の予算を付けた。また、市外の地権者との交渉の為に旅費も付いている。今後の展開としては、市の地権者確定ができれば、後は国が交渉に当たるとの話だが、今の所、売却か? 借地か?などは未定。

子ども図書館予算の 反対理由

前議会は、造成費、今議会は、建設費約1億4千万円の議案が出ていて、前回と同じ理由で反対した。それは、実施設計が、9月に出来て、市民に内容が分つてそこで議論や修工があつて工事に入る。市民の多くは、建設現場すら、はつきり知らない人も多い状況。市長も多く語らず、外部の人の意向で、動かされている様な印象。

国保とジェネリック

近年の医療費の増大は、人口増加やC型肝炎の特効薬など高額な物が増えたが、必要な出費と思う。一方、今回伝えたいのは、効果は同じ旧薬で価格の安いジェネリック薬品は、患者・国保共に助かる。その旧薬を希望する意思表示は、これまで、保険証カバに希望すると書いてあったものを付ければ良かった。しかし、今年度のカバはそれが無いので、以前のカバを付けるか、口で伝えないとトラブルが発生するので注意。

雄武町に 行って来ました

武雄市と姉妹都市の雄武町に初めて行って来ました。元々は、20年以上前に、郵便物のまぢがいから、郵便局同志の交流が進展。6月のおおむ祭り、11月の武雄市物産祭りに相互訪問。子供達は、冬の2月・夏の8月の季節の両極端を体験させているもよう。

一方、場所は、北方領土に近い知床の北に位置していて、冬は流水が来るらしい。産業は、毛ガニ、ホタテ関係で、今回、北海道でも、札幌より雄武町など産地が、だいぶ安いことも実感した。一方、飛行機が羽田で、3時間遅れたりして、13時間もかかり、また、雨でおおむ祭りも中止だった。私が以前から、気になっていた、前、田原町長が、温泉施設建設反対で、当選し、その後、建築したとの話は聞いていて、ずっと疑問だった。今回訪問して聞くと、計画の問題点を大幅に見なおし、町民の理解を得て建設したとの話で納得。勉強になるなと思った。